

歯科医師会だより65号

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は皆様には大変お世話になり誠にありがとうございました。本年もご理解、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。今年はいくらか円高になったとは言え、昨年から始まったウクライナでの戦火は収まる気配もなく、金パラの価格や燃料高で電気代も含めた物価は下がりそうもありません。コロナ禍も収束しそうな気配はありますが先行きは分かりません。さらに4月からすべての医院でオンライン資格確認の導入が義務づけられ、受付での対応や機器の故障など考えると頭が痛くなることばかりです。我々を取り巻く環境は厳しさを増していますが、こういう時こそ知恵を出し合い将来を見据えて一致団結して困難な状況を打破することが必要と思われれます。今年の忘年会では皆様と一緒に「ブラボー」と言って乾杯するために、私を含め執行部も一丸となり今まで取り組んできたホームページの作製、法人化などの重要課題を解決させていくために努力していく所存です。最後になりますが、今年も皆様のご多幸であります様お祈り申し上げます。 仙南歯科医師会会長 千木良 尚志

令和4年度 第2回仙南歯科医師会定例会

令和4年12月21日（水）18:00~20:10

仙南歯科医師会室と ZOOM による Web 会議

次 第

1. 開会 専務理事 飯淵 信也

2. 議長選出

議長 西村 英紀 先生

議長の西村です。それでは次第に沿って進めさせていただきます。

3. 挨拶 会長 千木良 尚志

皆さんこんばんは。残念ながらコロナの感染拡大のため、定例会はまたも web 形式になりました。大変残念です。しかしながら歯科医師会だより 64 号の会長挨拶にも書きましたが、今年は新年会以外のコロナ前から行っていた事業を開催することができました。本当に皆様のご協力のおかげだと思っております。この場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今日は報告、協議などたくさんありますので時間がかかると思います。ただ先日ある会員から「web 会議は 2 時間が限界だから 2 時間以上かからないようにやって欲しい」という話をいただきましたので、今日の終了時刻は 8 時 5 分前を目安として開催したいと思っております。皆様ご協力よろしくお願いたします。

4. 報告

1) 各支部報告

①柴田 小田部 晃二郎 先生

歯科保険連絡協議会、柴田支部定例会ともに web 開催であったことを報告 (p1,2)。

新型コロナウイルス感染対策の地方臨時交付金の要望書は医師会と連名で提出済みであることを報告。

②白石 小野 貴志夫 先生

白石市に助成金を申請したが認められなかったことを報告 (だより 64 号に記載)。

白石きぼう学園という新しい学校ができることを報告。不登校の子供たちのための学校で現在募集中。

校医については後日3役で協議して決めたいと思っている。

③角田 目黒 一美 先生

会員の異動があり（山本雄大先生）、それに伴い丸森病院に補綴学教室から月～金曜日までローテーションで先生が来ていることを報告。

丸森町長選挙があり、陣中見舞に行ったことを報告。現職が4度目の当選。

物価高騰対策中小企業者支援金について条件が合えば申請を勧める。県からは医療機関向けに20万円出るのでホームページから申請、1月末まで。

（長谷先生）県の方から20万円補助金が出ることを会員に強調して欲しい。

（千木良先生）皆さんのところに仙南保健所企画総務班の土田さんからメールがきていると思いますが、そこに記載されている。宮城県から歯科診療所には20万円出る。これは誰でも申請可能。他に、歯援診1・2を出している医院は歯科医師1人あたり車代として5000円出ます。前述のメールの添付資料参照。これについては今年中に宮歯から通知がくる予定です。

またそれとは別に2市7町のうち、角田・丸森・大河原は行政から10万円貰える。柴田町では宮城県がいくら出すかを待ってから金額を決めるとのこと。蔵王町は1月に再度検討するとのことだが、今回の物価高騰対策の補助金は出ない。白石は当初出ない予定だったが、市の基金から出す予定とのことで金額は未定。川崎・村田はまだ情報が入っていない。

2) 会長 千木良 尚志

オンライン資格確認のランニングコストを日歯連盟が計算したところ、毎月17,215円かかり3年目以降から助成金の42,9万円をもらっても赤字になるとのこと。この辺りに対し更なる補助金をとのことで、連盟の方で山田宏先生や比嘉奈津美先生先生が交渉中と報告。

3) 副会長 小田部 晃二郎

特になし。

副会長 目黒 一美

物価高騰に対するダメージを日歯が調査したところ、平均月額15万円、年間180万円ほど影響があるとのデータがでた。これを基に山田宏議員が更なる補助が必要とのことで頑張ってくれていると報告。

また、全国で診療報酬が同じであるのに対し、全国で同じ額を助成するように働きかけていると報告。

4) 宮歯理事 井上 大一

令和5年度宮歯終身会員は35名で、仙南では吉村昌樹先生と亙理滋先生が来年度終身会員になることを報告（p5）。

5) 宮歯常務理事

欠席によりなし

6) 専務理事 飯淵 信也

会務報告（p1、2）

- ・10月1日 岩沼歯科医師会学術講演会：出席者39名、仙南からは13名であった。
- ・10月21日 税務講習会：28名参加、内容はインボイス制度についてであった。
- ・11月19日 仙南学術講演会：後程榊原先生から報告。

会員動向（p7）

- ・山本雄大先生が11月30日付で退会。人数等は記載の通り
- ・診療所移転開設：亙理歯科医院（亙理滋・亙理瑛）
- ・令和4年表彰者：記載の通り

令和5年の新年会は役員会で協議の結果、中止とすると報告。

2月15日に臨時総会を開催予定で来年早々に案内予定と報告。

新型コロナウイルス感染症報告書について。年内までなので該当する先生は p16 の報告書に記載し専務に FAX。(p15,16)。

(遠藤先生) 山本雄大先生は宮歯・日歯も退会なのか。

(飯淵信先生) 同日に退会していると報告を受けている。

7) 各種委員会

○医療管理・西村先生

保健所の立ち入り検査について報告 (p5)。

オンライン資格確認について報告 (p5)。

○学術・学校歯科・榊原先生

仙南歯科医師会学術講演会について報告 (p17)。

白刈学校保健会の研修会について報告 (p22)。

・事前質問の内容、フッ化物洗口のアンケート結果、令和4年度の検診結果を各学校に郵送済。

○地域保険・前田先生

休日当番について報告 (p23,24)。

令和5年度の歯と口の健康まっりの準備委員会を開催したことを報告 (p26)。

・令和6、7年度は柴田で2回先にやって白石角田の先生にも見ていただいてやれればと思っている。

・方向性としては行政の行事に乗っかりたい。本来は6月だが11月の開催を目指したい。

一般社団法人ふくのねから施設協力医の依頼があり、役員会と村田町の先生方で協議した結果、榊原先生にお願いすることになったと報告。

・今後入所施設だけでなく通所施設から依頼があるかもしれない。この辺りは役員会や地域保険委員会で協議・対応していく。

・依頼が来たら回答をすぐせずにはまず報告をお願いしたい。

○社保・清原憲先生

令和5年度までは高点個別指導はなし、情報提供のものはあり、宮城県では2医療機関に共同指導が予定されていたが仙南はなし、と報告 (p5)。

オンライン資格確認について:厚労省のほうも原則義務化ということで役人の方も保険医療機関の停止にまで及ぶような話をしているので肅々と進めるほかないのかなと思っている。

歯科医師国保について:1年前よりP病名関連は認められないが、従業員の家族は事前申請で認めることになっている。今までは返戻だったが今後査定になるので注意。

8) みやぎ県南中核病院口腔外科 伊藤 正健

診療体制に変わりはないことを報告。

最近入院患者が減っているため、入院して抜歯ができますよと案内してもらえるとありがたい。

君塚先生のもとで研修登録医の先生が1年間研修を積むことになっていることを報告。

9) みやぎ訪問歯科・救急ステーション 奥田 まゆみ

特に報告なし。

10) その他

(小田部晃先生) 高橋純孝先生が入院されたとの電話がご家族からあったと報告。

5. 協議

1) 法人化に関して (玉野井先生)

・法人化に関して情報収集したことを報告 (p8,9)。

・年間70万円かかり、計算上会費を1万円値上げするか他の事業を節約するか。

・このような金額で話を進めていいかどうか伺いたい。

(遠藤先生) 税理士の顧問料が年間 50 万円とあるが、毎月の顧問料を支払う必要はないと思う。確定申告時のみであれば 20 万円くらいで済むのではないか。他の 5 地区の歯科医師会は共益目的型なのか。

(玉野井先生) 税理士に訊いたが、毎月でないかと困るとのことだった。毎月 3 万円と消費税その他で年間 50 万円くらいとのことだった。そのうち色々質問していたところ断られてしまった。普段は井伊さんに帳簿をつけておいてもらい、決算の時にお願いして 20 万円くらいで終わるのが理想だと思うが、実際にそういうことをしてくれる方の目処が立たない。

(遠藤先生) 小さいお店だと商工会に頼んでやってもらっているところもある。税理士に 50 万円も支払うのが勿体ない気がする。どこかでやってくれるところはないのか。

(玉野井先生) 商工会及びいくつか検討してみる。共益目的型の件については質問に入れていなかったため今のところわからない。他地区の執行部も把握していないかもしれない。

(千木良先生) 真壁先生が体調不良で欠席のため、意見をいただいている。「70 万円かかるのは仕方ないだろう、けちるよりはちゃんと払ってちゃんと仕事をしてもらう税理士を見つけた方がいい。また法人化のために会長としては会費の値上げについてどう考えているのか？」とのことでしたので「他地区は法人化と同時に会費を値上げしている。ただうちの場合 2、3 年間は値上げしなくても平気という感じはあるが、将来的には考えなければならないと思う。ただそうすると会費免除の方からはもらえなくなる。そこで休日当番から一回につき 5 千円くらいもらうことなども検討している。」と答えました。金銭的な話はそれ以外の選択肢もあると思っていますのでこの件については今後役員会で検討し皆様にも意見を聞くことになると思います。

(目黒先生) 継続費用の大半が顧問料になっている。今後会員が減っていく中で、現在の 70 万円と 20 年後・30 年後の 70 万円の重みが違う。これから仙南歯科医師会を率いていく人達に大きな負担となる。会員の先生方で税理士の情報を募ってはどうか。

(玉野井先生) 税理士に心当たりのある方は教えていただけるとありがたいです。

2) 仙南歯科医師会ホームページに関して (武者先生)

- ・ HP 検討委員会からの提言書として p10 にまとめた。
- ・ FAX 代や事務員の負担を軽減するため。
- ・ 一般の方への情報提供、法人化に伴う公告への活用。

(清原憲先生) 長谷先生からの伝言：以前にエントラストに頼んでいた HP をやめるときに、はせ歯科の HP がアダルトサイトにとぶようになったことがあったので、注意して欲しい。

(谷津正先生) エントラストの 20 万円の値段はどうなのか。

(武者先生) 会員向けサイトは別料金になると思う。

(小野先生) スマホで閲覧できる web サイトがいいと思う。

(前田先生) エントラストの 20 万円の内訳が、PC サイト 10 万とスマホサイト 10 万になっている。スマホ検索が 7、8 割なので、大体の会社がどっちも対応している。

(川口先生) 一般の方向けがメインなのか、会員向けがメインなのか。会員向けであれば PC サイトのみでいいのではないのか。

(武者先生) 法人化に伴う公告が必要なので、スマホサイトは有効な面がある。

3) 歯科保健衛生事業(障がい児・者事業)に関して (飯淵信先生)

- ・ 令和 5 年度まで大崎地区で事業を行っており、令和 6 年度以降、仙南歯科医師会で事業を行うかどうかを 8 月までに検討する (p11~14)。
- ・ 大崎の人材育成セミナーが来年度も行われる。Web 開催もあるため是非参加して意見を頂きたい。
- ・ 2 市 7 町との連携や雇用の問題でハードルは高い。
- ・ 3 年間の事業が終わった後に、その継続が経済的な面や人材的な面で出来るのかどうか。

- ・そもそも障がい児・者の声、需要がないと意味がないのでは（石巻地区では需要があった）。
- ・中核病院や宮歯、場合によっては医師会や行政、宮城県の県議会議員の先生方などとタイアップして事業展開できるのかどうかというのもキーポイントとなる。
- ・ソフト面とハード面を両立できるかとなった時、ハード面である設備の整備というのは難しいと思うが、ソフト面での障がい児・者に対する歯科保険医療提供体制に向けての人材育成といった準備は進めてもいいと思う。
- ・口腔保険センターができたとしても、歯科だけではセデーションや全身麻酔に関して医科の先生の力を借りないといけないのではないかと。
- ・私（飯淵）と千木良会長が下瀬川企業長と宮崎病院長と話をする機会があった際に中核病院での障がい児・者の受け入れについて伺ったところ、そういった体制は難しいとのことだった。手術室やスタッフの不足、各科の先生との調整など。
- ・この事業を断った後に、将来必要があって県に協力依頼する場合、厳しい対応になる可能性がある。

（亘理滋先生）このセミナーというのは年度毎に同じ内容で行われるのか。

（飯淵信先生）4月か5月に第一回が開催、毎月一回90分開催。大学の先生が講師を勤めることがほとんど。東北大の麻酔科の水田教授、障がい者治療部の高橋温先生、岩手医大の障がい者の先生が講師を勤める。90分の講演の後、30分質疑応答。参加者は40人弱。ワークショップもある。令和5年度も同じ感じになると思う。山崎先生にきいてまたご報告できればと思う。

（亘理滋先生）人材育成はできるかもしれないが設備はハードルが高いとの話があったが、なるほどそうだと思う。石巻や大崎といった大きいところがあればいいが、2市7町と小さいところが集まっているようなところだと大変。石巻・大崎は口腔保険センターがある。仙南の場合は今から会員が歳をとって少なくなっていくことを考えると無謀というか。私も刈田病院の中に障がい者歯科診療の施設を作ろうと無謀なことをやってきた人間なので、あまり身の丈よりも上のことを考えると今から大変になってくる。もちろん人材育成や障がい者の方の歯科保健などやらなければいけない事はあるが、石巻、大崎に続いてじゃあ仙南だ、となると難しいと思う。やれる事はやった方がいいと思う。

（山家先生）石巻や大崎のように仙南では家族の方から嘆願があるのか。あるのであれば数ほどの程度なのか。仙台や東北大に送るのも考えられるので。ソフト面ならまだしもハード面は難しいのではないかと。

（飯淵信先生）実際には大分そのような形が現実的かなと思っている。

（奥田先生）研修に関しては石巻や大崎にも参加しているが、年10回くらいのケースで研修が行われている。流れとしては障がい者の疾患特性や静脈確保の実習もやりながら研修していく形になっている。石巻の時は保険センターでのケースの見学・実習があったが、大崎ではこのご時世で難しいのでグループワークなどで全身麻酔やセデーションについて皆で知識を症例毎に深めていく形であった。おそらく来年も同じような形だと思う。

宮城県内で障がい者歯科学会認定医や専門医がいる施設は10ヵ所しかないが、そのうちの1つが千木良先生のところなので、仙南の障がい者歯科の実体などをおききしたい。

（千木良尚先生）毎月障がい者加算をとっている患者さんが40人前後。家内が認定医専門医指導医を持っている。元々摂食嚥下を専門に家内がやっていたので障がいを持った方がたくさんくる。基本的に私は中途障がい者を診、子ども関係は家内が診る。石巻支援学校は大型バス4～5台で送り向かいするほど生徒数が多く、それまで通院していた仙台への交通が遮断された震災を機に地元での治療に対する要望の声が高まった経緯があり規模も歴史も違う。

仙南地域では角田支援学校は菅野先生、船岡支援学校は大友先生、角田支援学校の白石校は家内が歯科校医やっている。石巻のように支援学校の父兄から地元での歯科診療に対する要望と言うのは仙南では聞いたことがない。

支援学校では授業の一環で電車やバスの乗り方、買い物の仕方などがあるが、当院ではそれをまねして授業として歯科医院のかかり方を学校側と相談して年に2回行っている。大変だが子どもたちが年々できるようになってくると成長とは素晴らしいことだと思う。また衛生士を2人障がい者歯科学会に入会させて勉強もさせて障がい児・者担当としている。セデーションとかは行っておらず、この方法がいいかどうか分からないが障がい児・者が診療に応じてくれるようにするためにやれることをやるしかないのが現状。ただし時間と労力を費やす割にお金にはならない。個人的には会の皆にも診療をして欲しいと思うが仙南歯科医師会の会長として診ろとは言えない。なぜなら障がい児・者1人を診る間に健常人なら3人は診られる。どちらを大事にしたらいいかというのはなかなか難しい話だ。しかし困っている人を前にして、うちでは診られないというのも医療人としてどうかと思いジレンマに陥っている。だから口腔保健センターのような施設が必要だと思っている。しかし法人化もしていない現状で施設に関して言及するのは時期尚早だという気はしている。

(千木良あ先生) 専門医・認定医指導医という資格はあるが当院には全身麻酔を行うような設備はない(専門医・指導医にもそれぞれ専門があり、全員が全身麻酔での治療ができるわけではなく、またそれが最善ではないことを認識していただきたい)。仙南地域は東北大に送れば事足りるという部分があるため説明もなく門前払いをしてしまう傾向があったのではないかと。歯科に来る患者さんは治療してほしいのではなくて人として受け入れてほしいという思いがあって受診しているのに、説明もなく断られたり、障がい者だからといっていきなりぐるぐる巻きにして治療されたりしている。障害児者本人ご家族に対するそういった視点自体が問題なのではないか、と思うが、その議論が全くない。個人的には地域の歯科医師会としてできることは限られていると思う。石巻や大崎と同じようにやることや、東北大と同じように診ることが果たして正解なのかどうか、可能なのか疑問に思う。長い時間をかけて患者さんやご家族と信頼関係を構築することが最終的には患者さんのためになるという方向性があることも話し合ってもらいたい。今回の事業に関しては宮歯が考える地域における障害児者診療の長期的ポリシーも宮城県の姿勢も私には見えていないため、残念ながら資格があっても情報量としては皆さんと同じ状態である。

(遠藤先生) 設備面は仙南地区だけでは難しい。医療圏は違ってしまいかもしれないが、岩沼にも働きかけるのはどうか。

(千木良尚先生) 岩沼の遠藤会長に話をした。岩沼・名取は全部仙台に送る。岩沼歯科医師会としては障がい児・者に対する診療を何かやるかどうかとの問いには「全く考えていない」とのこと。

(飯淵信先生) ご意見ありがとうございます。この事業が会員の負担にもならず果たしてどこまで確立できるかどうかということを重々考えて、山崎先生や役員会と協議していきます。ご協力よろしく願います。

4) その他

特になし。

6. その他

(小野先生) 宮歯に入った税務調査の件はどうなったか。

(井上先生) 私には何も入ってきていない。明日宮歯理事会があるが、前回の合同役員協議会でも説明はなかった。

7. 閉会 副会長 目黒 一美

皆さん今日も、また今年一年も大変お疲れ様でございました。今年は思い返すとデルタ株蔓延から始まって、ロシアのウクライナ侵攻があって、物価高がきて、ということといい一年ではなかったのかなど。最後にサッカーで光明が見えましたが、来年こそは仙南歯科医師会と会員の皆様がより良き一年となりますようにと心から祈念して閉会とさせていただきます。皆さん良いお年をお迎えください。ありがとうございます。

(議事録 総務 亘理瑛)

【編集後記】

皆様、明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症が2019年12月に中国で発見されてから3年になります。私は正月休みが明け本日より仕事が始まりました。3年前の正月休みは私にとって忘れられない休みでした。3年前、年内の診療を終えスタッフと忘年会を行い、待ちに待った正月休みに入りました。私は両親(すみ江先生じゃないよ)を連れ立って前田家初の親と行く海外旅行へ出発予定でした。出発当日の朝は旅行の準備は万全でしたが体調の方が万全ではなくまさかの九度越えの熱発。そうです。インフルエンザにかかっていたのです。意識朦朧の中ようやく成田空港へ到着し、父から貰ったイナビルを吸入し、座薬を入れてベンチで待機。サーモグラフィ検査があったら出国できないだろうからその時は一人で宮城に帰ります宣言を家族にしましたが無事に出国ゲート通過。旅先では二日間寝ていましたが、後半は復活し旅行を満喫できました。帰国後数日でコロナウイルスの報道が出て、もし半月でもコロナ報道が前にずれていたら出国できずに一人で宮城に帰っていたんだらうなあとと思っています。今期の冬はコロナもだいぶ流行っていますが、これからインフルエンザも流行るみたいですので会員の皆様も感染対策をしっかりと頂き日々の診療に取り組んでいただければと思います。

(前田 真史 記)